

令和5年別府市10大ニュース

【対象期間：令和5年1～12月】

NO.	月	事項(タイトル)	内容	部署
1	1	別府市創造交流発信拠点「TRANSIT(トランジット)」オープン	別府市の文化・芸術情報や・観光客や移住希望者に向けた情報を発信する拠点がレンガホールにオープンしました。地域の方々も気軽に立ち寄れる場として、アートを軸とした地域活性化の拠点を目指します。	観光産業部
2	1	別府タワーリニューアルオープン	竣工65年を迎えた別府タワーが1月27日にリニューアルオープンしました。竣工当時の塗装色のグレーと、高さも90メートルから100メートルに復元され、2階層からなる展望台は、ガラスとサッシを新装し別府市の眺望がより鮮やかに望めるように改装されました。また、季節やイベントにより配色が変わるLED照明で色鮮やかにライトアップされる姿が日本夜景遺産に登録されました。	観光産業部
3	4	長野市政3期目スタート	4月に行われた統一地方選において、再選を果たし、長野市政の3期目がスタートしました。	市長公室
4	4	こども部及び別府市こども家庭センターの設置	こどもまんなか社会の実現に向けた市の取組を進めるため、こども関連の施策を一体的に行う「こども部」を創設しました。また、妊娠期から子育て期に至るまで、地域で安心して子育てができるよう切れ目のない支援を行うため、「別府市こども家庭センター」を設置しました。	こども部
5	6	第71回全国ろうあ者大会 in おおいたの開催	6月8日～11日、福祉の増進や社会への理解を広げることを目的に、大分では70年ぶりとなる「第71回全国ろうあ者大会 in おおいた」が開催されました。全国各地からろうあ者や手話通訳者約2,500人が参加し、式典では、長野市長が手話を使って歓迎の言葉を述べました。	市民福祉部
6	8	ナイトバスの運行開始	夜間のタクシー不足を緩和し、市民の移動手段を確保するため、8月25日からナイトバスを運行しました。路線バスなど他の交通手段終了後に、亀川方面、鉄輪方面、扇山方面の3ルートを運行し、確実に安全な深夜の帰宅手段を確保することで、外出促進や消費喚起につなげ、コロナ禍で打撃を受けた地域経済の活性化を図りました。	企画戦略部

NO.	月	事 項 (タイトル)	内 容	部署
7	9	別府市学校給食センターオープン	3献立、計8,500食調理可能な大型施設は、機能的で衛生面にも配慮された施設となっており、最新設備を活用した、安全・安心な手作りをモットーとした日本一おいしい給食の提供がはじまりました。	教育部
8	9	別府発の新しい学び方・休み方 「たびスタ」休暇スタート	平日の家族旅行を推奨し、旅育（旅先で得られる経験を通じて多くのことを学び、こどもの心や人間性の成長を促す）の推進と平日や閑散期の観光需要のシフトによる地域経済の活性化を目指す新しい学び方・休み方として、「たびスタ」休暇を導入しました。	教育部
9	9	楠銀天街の課題解決に向けた新たなまちづくりがスタート	長年の懸案であった楠銀天街の課題解決に向け、南部ひとまもり・まちまもり協議会における「楠銀天街検討委員会」が2月に今後の方針をとりまとめ、8月に南部の新たなまちづくりについて、市長に報告、要望しました。地域が中心となったまちづくりを支援していくため、市もアーケードの撤去や道路整備などを進めていきます。	建設部 市長公室
10	10	「第1回みんなで話そう別府市政フォーラム～日本一幸せを実感できるまちを目指して～」開催	10月12日にビーコンプラザで「第1回みんなで話そう別府市政フォーラム」を開催しました。市長と事業担当職員が対話形式で様々な施策について市民の皆様に説明しました。	市長公室
11	10	世界の旅行先のトレンド1位に	世界最大規模の旅行ECサイトBooking.comが発表した、2024年のトレンドの旅行先ランキングで、別府市が1位に選ばれました。	観光産業部